

第4章

子どもと地域

この章では、「三重県子ども条例に基づく調査」の結果をもとに、子どもと近所の大人との日常的なかかわりや地域活動への意識をみます。また、子育てにおける地域との関係性や重要性、子育てに関する活動への参加状況から、子どもを育て見守る保護者や県民の意識と現状を把握します。

子どもたちの育ちを見守り応援したい県民は約9割となっているものの減少しています。

子育てをする上で、近所・地域の支えが重要と考える保護者、県民はともに約9割と高くなっています。一方で、地域の人との関係やつながりが強い保護者は約5割にとどまっています。

現在子育てに関する活動に参加していない県民は8割と大半を占めていますが、今後の活動意向としては、必ずしも低いものではありません。しかし、参加したいが、どのような活動がよいかわからないといった声も多くあります。保護者からは、子どもの防犯のための声かけや登下校の見守り活動、子育てに関する情報提供、子育てに関する悩み相談、外出や親の帰りが遅いときに子どもを預かる活動など幅広いニーズがあがっており、こうした保護者のニーズに対応していくためには、県民に対して情報提供していくことなどが重要といえます。

保護者や県民が、住んでいる地域で子どもと取り組めるとよいことについて、防災活動など地域の安全を守るための活動が高くなっています。また、小学生や中学生の保護者では異なる年齢の子どもと一緒に遊んだり、活動したりすることも高くなっています。一方で、中学生と高校生では、住んでいる地域での取組について、「特にしたいことはない」が最も高くなっています。

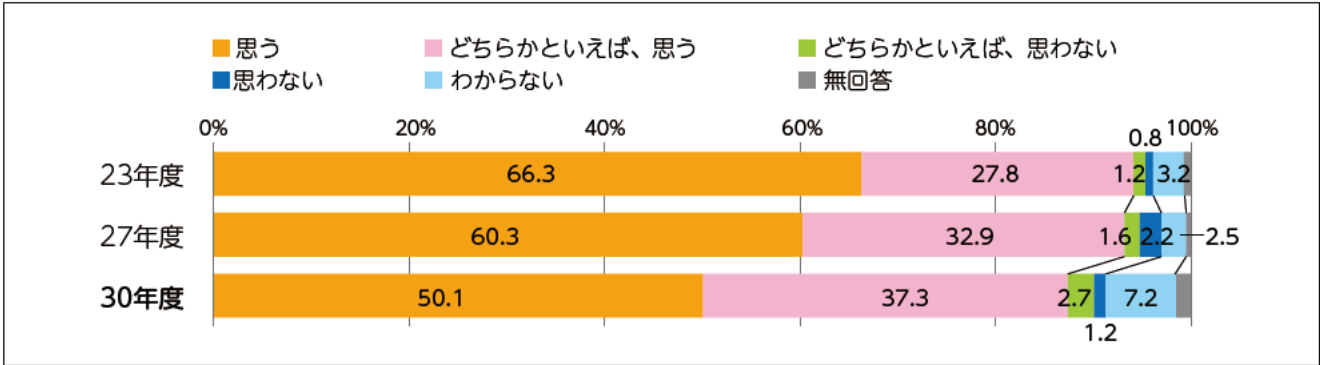
1 地域の応援

●子どもたちの育ちを見守り応援したい県民は約9割だが、減少している。

子どもたちの育ちを見守り、応援したいと思うかについて、「思う」「どちらかといえば、思う」と答えた県民は87.4%となっています。

平成23年度、平成27年度と比較すると、「思う」と答えた県民は10ポイント以上低下しています。

■ 図 4-1 あなたは、子どもたちの育ちを見守り、応援したいと思いますか



資料：「三重県子ども条例に基づく調査・県民調査」

悩みを抱える子どもや子育て中の保護者を支援する取組を行っているNPOの方に聞きました

●今の社会のなかで、子どもたちが大切にされていることや、子どもたちの育ちを見守り、応援したいと思うことについての割合が前回調査より下がっていることについて(P. 42、62参照)

昔と比べると、社会全体で責任を持って子どもを育てるといった風土がなくなっているように感じます。その背景として、自分に直接関わることには関心を持つが、社会全体のことには関心を持ちにくい人が増えているように思います。

(例えば、自身の子どもや自分が知っている子どもの騒ぎ声は許せるが、知らない子どもの場合は許すことができなかつたり、自分が子育て中のときには地域のサポートを求めるが、子育てが終わると次の世代の支え手になるという考えが選択肢にはないなど。) 今回の調査で、これらの設問に対して、「わからない」との回答が増えていることも、無関心層の増加が一因と考えられるのではないかと思います。

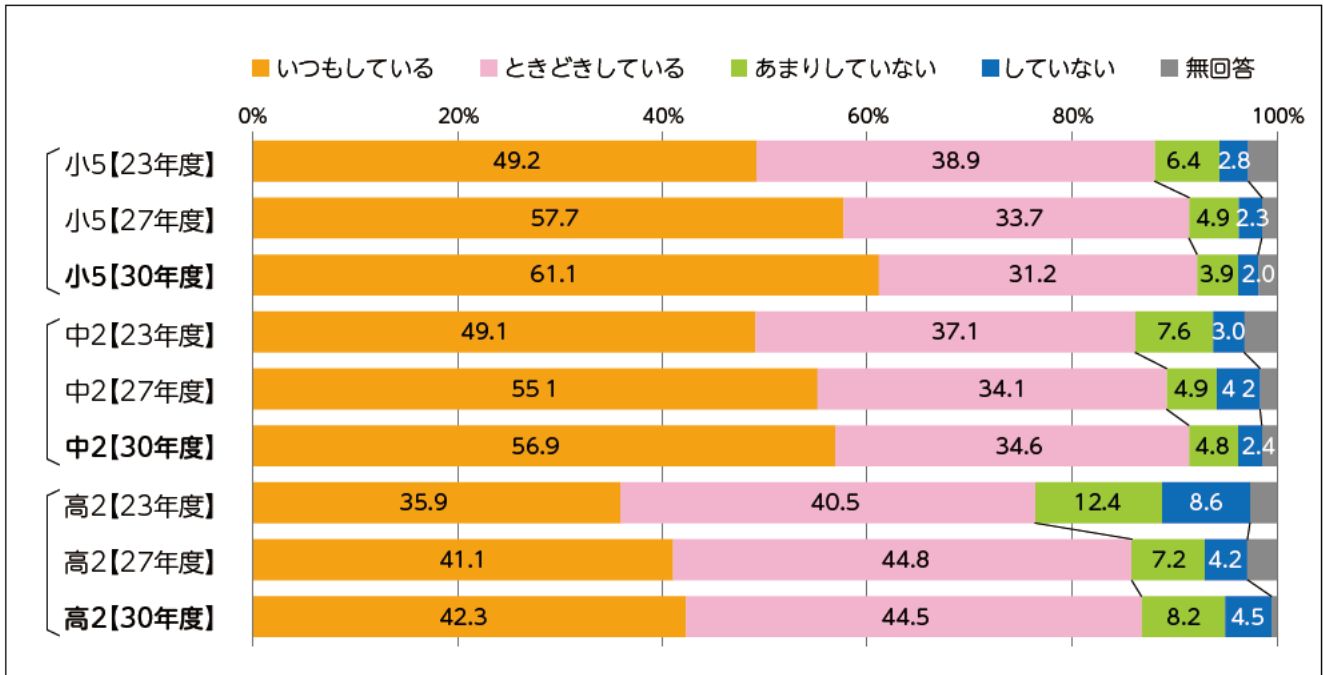
(NPO法人 三重県子どもNPOサポートセンター)

●近所の人とあいさつをしている子どもは約9割。

近所の人とのあいさつについて、「いつもしている」「ときどきしている」と答えた小学生は92.3%、中学生は91.5%、高校生は86.8%となっています。

平成23年度と比較すると、小学生、中学生、高校生ともに「いつもしている」の割合が増加しており、特に小学生は11.9ポイント上昇しています。

■ 図 4-2 あなたは、近所の人とあいさつをしていますか

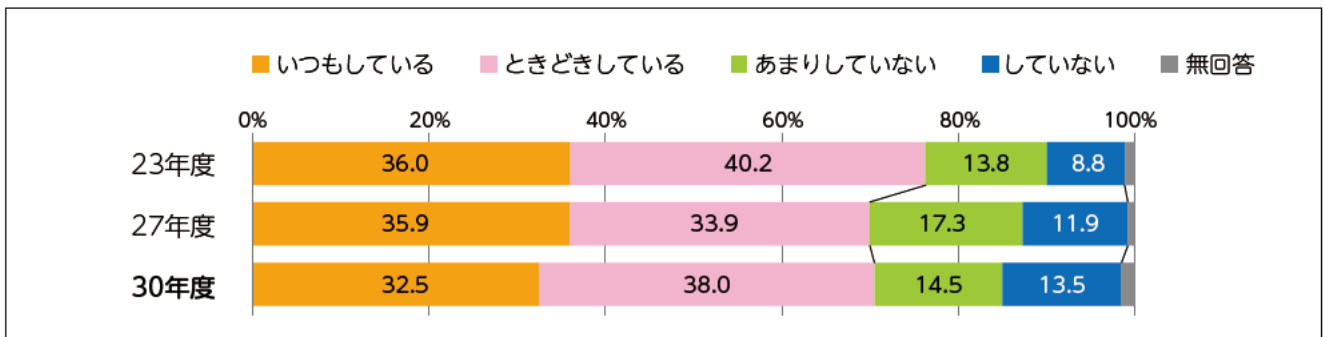


資料：「三重県子ども条例に基づく調査・子ども調査」

●近所の子どもとあいさつをしている県民は約7割。

近所の子どもとのあいさつについて、「いつもしている」「ときどきしている」と答えた県民は70.5%となっています。

■ 図 4-3 あなたは、近所の子どもとあいさつをしていますか



資料：「三重県子ども条例に基づく調査・県民調査」

●子育てをする上で、近所・地域の支えが重要と考える保護者、県民は約9割。

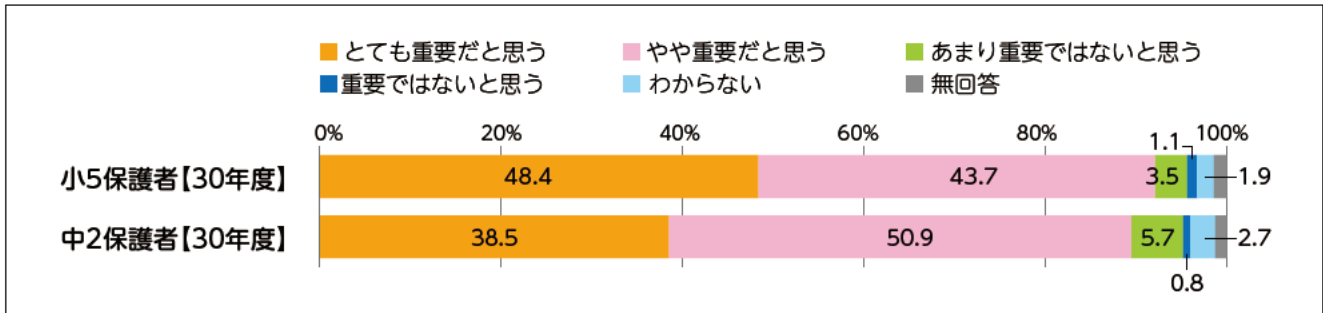
子育てをする上で、近所・地域の支えの重要性について、「とても重要だと思う」「やや重要だと思う」と答えた小学生の保護者は92.1%、中学生の保護者は89.4%となっています。

「とても重要だと思う」と答えた小学生の保護者は48.4%となっており、中学生の保護者より9.9ポイント高くなっています。

一方、子育てをする上で、近所・地域の支えの重要性について、「とても重要だと思う」「やや重要だと思う」と答えた県民は92.7%となっています。

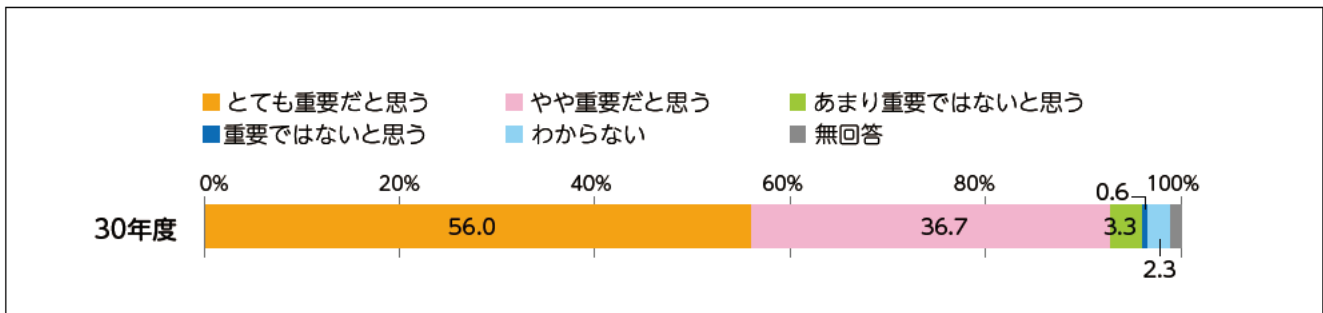
「とても重要だと思う」と答えた県民の割合は保護者よりも高く、特に中学生の保護者より17.5ポイント高くなっています。

■ 図 4-4 子育てをする上で、近所・地域の支えは重要だと思いますか



資料：「三重県子ども条例に基づく調査・保護者調査」

■ 図 4-5 子育てをする上で、近所・地域の支えは重要だと思いますか



資料：「三重県子ども条例に基づく調査・県民調査」

●子どもにかかる市町の取組を紹介します

〈名張市〉

地域と連携しながら子育て支援

子どもから高齢者まで誰もが気軽に訪れることができる場所として、市内15カ所に開設されている「まちの保健室」は、切れ目ない子育て支援に取り組む「名張版ネウボラ」の重要な拠点となっています。市内15地域に看護師や介護福祉士などが配置され、子育て、福祉、健康づくりなど、何でも気軽に話せる身近なワンストップ相談窓口です。各地域には、民生・児童委員、ボランティア、区長など地域の皆さんの協力のもと、親子で気軽に遊べる「子育て広場」が展開されており、こうした住民の地域づくり活動とも連携しています。

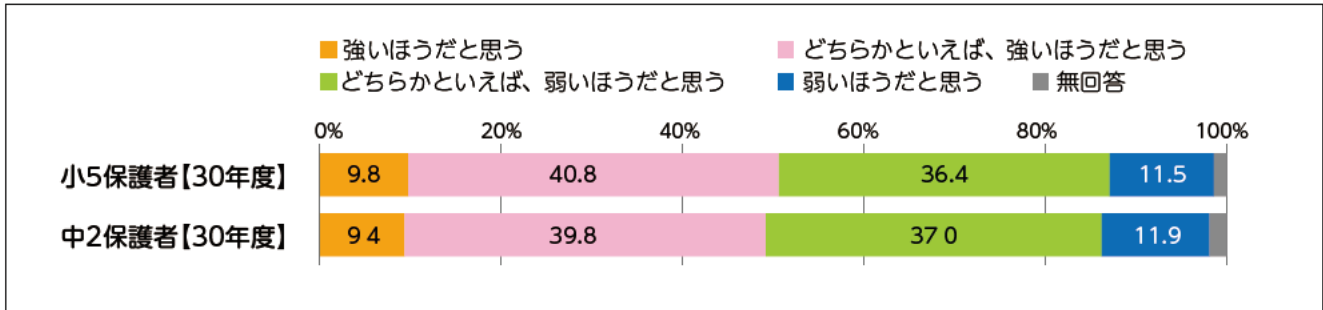


●地域の人たちとの関係やつながりが強い保護者は約5割。

自身と地域の人たちの関係やつながりの強さについて、「強いほうだと思う」「どちらかといえば、強いほうだと思う」と答えた小学生の保護者は50.6%、中学生の保護者は49.2%となっています。

子育てをする上で、近所・地域の支えは重要との認識は約9割と高いものの（P.64）、自身と地域の人たちの関係やつながりが強い保護者は約5割にとどまっています。

■ 図 4-6 ご自身と地域の人たちの関係やつながりは強いほうですか

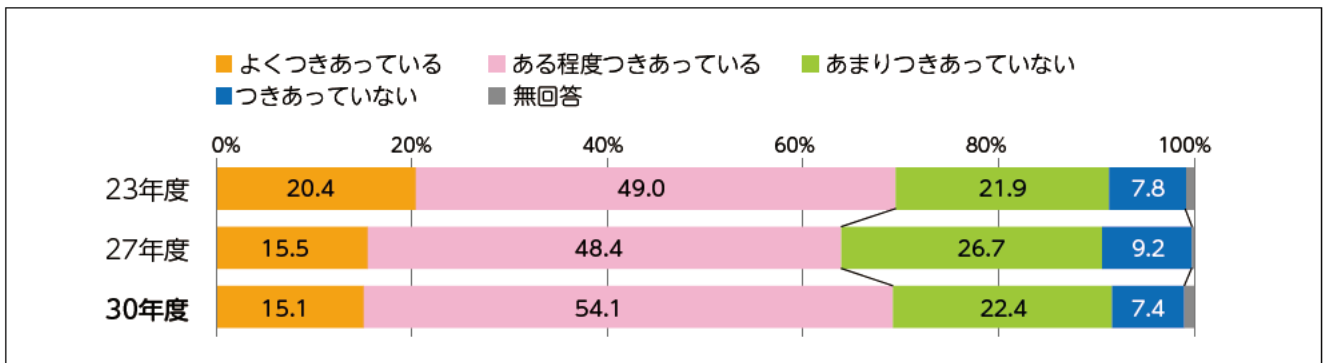


資料：「三重県子ども条例に基づく調査・保護者調査」

●となり近所とよくつきあっている県民は約7割。

となり近所とのつきあいの程度について、「よくつきあっている」「ある程度つきあっている」と答えた県民は69.2%となっています。

■ 図 4-7 あなたは、となり近所とのつきあいを、どの程度されていますか



資料：「三重県子ども条例に基づく調査・県民調査」

●大切と思う人間関係やつながりは保護者、県民とも「家族」が9割以上。「近所・地域の人」は保護者が約5割、県民が約7割。

大切と思う人間関係やつながりについて、小学生の保護者、中学生の保護者ともに「家族」がそれぞれ97.3%、97.4%と最も高く、次いで「子どもを通じた知り合い（ママ友など）」、「近所・地域の人」となっています。

大切と思う人間関係やつながりについて、県民は「家族」が94.9%と最も高く、次いで「近所・地域の人」が66.0%、「親戚」53.0%となっています。

子育てをする上で、近所・地域の支えは重要という保護者の認識は約9割と高いものの（P.64）、自身にとって大切と思う人間関係やつながりとして「近所・地域の人」と答えた保護者は約5割にとどまっています。

■ 図 4-8 あなたにとって大切と思う人間関係やつながりは何ですか（複数回答・いくつでも）

	小学生保護者	中学生保護者	県 民
	30年度	30年度	30年度
家族	①97.3	①97.4	①94.9
親戚	49.1	47.5	③53.0
近所・地域の人	③54.1	③53.6	②66.0
職場の同僚や仕事関係の人	45.2	45.5	46.9
学生時代の知り合い	50.8	48.8	42.5
趣味の仲間	16.5	19.7	32.3
子どもを通じた知り合い（ママ友など）	②57.7	②54.4	27.8
インターネット上の付き合いの人	0.5	0.7	2.4
その他	2.0	1.8	2.0
特にいない	0.5	0.2	0.3
わからない	0.3	0.3	0.5
無回答	1.3	1.2	1.0

資料：「三重県子ども条例に基づく調査・保護者調査、県民調査」〔○番号は割合の多い順を表しています。〕

●**子育てにあたって求める地域の支えは、防犯のための声かけや登下校の見守りが最も高い。**

子育てするにあたって地域でどのような支えがあると良いと思うかについて、小学生の保護者は「子どもの防犯のための声かけや登下校の見守りをする活動」が69.2%と最も高く、次いで「急な外出や親の帰りが遅くなった時などに子どもを預かる活動」が32.2%、「子育てに関する情報を提供する活動」が31.7%となっています。

中学生の保護者は「子どもの防犯のための声かけや登下校の見守りをする活動」が63.4%と最も高く、次いで「子育てに関する情報を提供する活動」が30.5%、「子育てに関する悩みについて相談にのる活動」が29.3%となっています。

「急な外出や親の帰りが遅くなった時などに子どもを預かる活動」と答えた小学生の保護者は中学生の保護者より10.1ポイント高くなっています。

■ **図 4-9 あなたは、子育てするにあたって、地域でどのような支えがあると良いと思いますか**
(複数回答・いくつでも)

	小学生保護者	中学生保護者
	30年度	30年度
子育てに関する悩みについて相談にのる活動	29.0	③29.3
子育てをする親同士で話ができる仲間づくりの活動	26.4	27.1
子育てに関する情報を提供する活動	③31.7	②30.5
子育て家庭の家事・育児を支援する活動	25.3	23.8
急な外出や親の帰りが遅くなった時などに子どもを預かる活動	②32.2	22.1
子どもの防犯のための声かけや登下校の見守りをする活動	①69.2	①63.4
子育てに関する知識や技術の学びを提供する活動	13.4	14.7
子育てをする親の状況について、周囲の理解を深めるための活動	12.7	13.6
その他	2.3	1.6
特にない	4.8	7.3
わからない	2.9	4.9
無回答	1.6	1.7

資料：「三重県子ども条例に基づく調査・保護者調査」〔○番号は割合の多い順を表しています。〕

●子育てに関する活動について、8割の県民が活動に参加していない。

子育てに関する活動の支え手として、現在参加している活動について、「参加している活動はない」が80.0%と最も高くなっています。次いで「子どもの防犯のための声かけや登下校の見守りをする活動」が7.4%、「子育てをする親同士で話ができる仲間づくりの活動」が3.6%となっています。

■ 図 4-10 地域社会における子育てに関する活動の支え手として、あなたが現在参加している活動はありますか（複数回答・いくつでも）

	県 民
	30年度
子育てに関する悩みについて相談にのる活動	2.9
子育てをする親同士で話ができる仲間づくりの活動	③3.6
子育てに関する情報を提供する活動	3.0
子育て家庭の家事・育児を支援する活動	2.0
急な外出や親の帰りが遅くなった時などに子どもを預かる活動	3.5
子どもの防犯のための声かけや登下校の見守りをする活動	②7.4
子育てに関する知識や技術の学びを提供する活動	2.2
子育てをする親の状況について、周囲の理解を深めるための活動	1.6
その他	3.2
参加している活動はない	①80.0
無回答	2.6

資料：「三重県子ども条例に基づく調査、県民調査」【○番号は割合の多い順を表しています。】

●子育てに関する活動に対する県民の参加意向は低くないものの、今後参加したい活動についてはどのような活動がよいかわからない人が多い。

子育てに関する活動の支え手として、今後参加したい活動について、「参加したいが、どのような活動がよいかわからない」が32.2%と最も高く、次いで「子どもの防犯のための声かけや登下校の見守りをする活動」が26.9%、「参加したいと思わない」が20.1%となっています。

80.0%の県民が現在、「参加している活動はない」と答えたものの（P.68）、今後の活動意向として「参加したいと思わない」は20.1%にとどまっており、多くの人は何らかの活動意向を持っているとみられます。一方で、「参加したいが、どのような活動がよいかわからない」と答えた県民が32.2%となっており、活動したいとの気持ちは持っているものの、具体的な活動内容をイメージできていない県民が多くなっています。

■ 図 4-11 地域社会における子育てに関する活動の支え手として、あなたが今後参加したい活動（現在参加している活動を継続する場合も含む）はありますか（複数回答・いくつでも）

	県 民
	30年度
子育てに関する悩みについて相談にのる活動	9.6
子育てをする親同士で話ができる仲間づくりの活動	10.2
子育てに関する情報を提供する活動	8.8
子育て家庭の家事・育児を支援する活動	7.5
急な外出や親の帰りが遅くなった時などに子どもを預かる活動	13.3
子どもの防犯のための声かけや登下校の見守りをする活動	②26.9
子育てに関する知識や技術の学びを提供する活動	6.7
子育てをする親の状況について、周囲の理解を深めるための活動	5.4
その他	2.4
参加したいが、どのような活動がよいかわからない	①32.2
参加したいと思わない	③20.1
無回答	4.0

資料：「三重県子ども条例に基づく調査・県民調査」〔○番号は割合の多い順を表しています。〕

●参加していない理由は、忙しくて時間が無いが最も高い。

現在参加している活動はない人の参加していない（参加できない）理由について、「仕事や家事などで忙しくて時間が無い」の割合が42.5%と最も高く、次いで「活動に関する情報がないため、関わる機会がない」が29.8%、「特に理由はない」が16.0%となっています。

■ 図 4-12 図 4-10 (P.68) で「参加している活動はない」を選択した人にお聞きします。参加していない（参加できない）理由は何ですか（複数回答・いくつでも）

	県民
	30年度
仕事や家事などで忙しくて時間が無い	①42.5
子どもを他人と関わらせることに対する保護者の抵抗感などの風潮がある	5.4
活動に関する情報がないため、関わる機会がない	②29.8
活動自体に興味がない	5.4
子どもが好きではない	2.3
その他	12.5
特に理由はない	③16.0
無回答	8.7

資料：「三重県子ども条例に基づく調査・県民調査」〔○番号は割合の多い順を表しています。〕

2

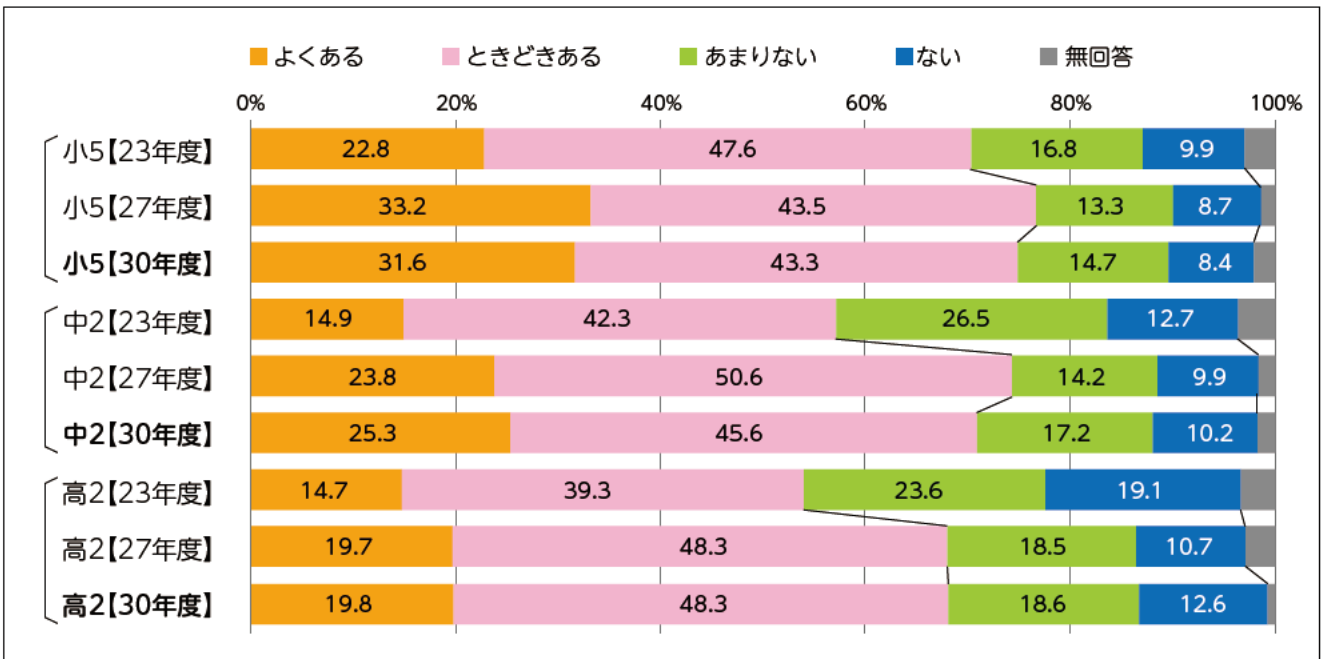
子どもと地域の大人のかかわり

●近所の大人からほめられたことがある子どもは約7割。近所の子どもをほめたことがある県民は約5割。

これまでに近所の大人からほめられたことについて、「よくある」「ときどきある」と答えた小学生は74.9%、中学生は70.9%、高校生は68.1%となっています。

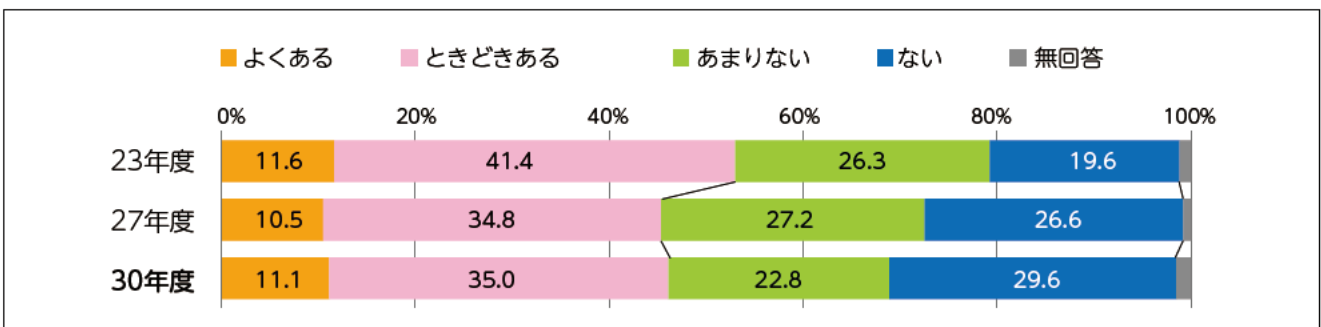
一方、近所の子どもをほめたことについて、「よくある」「ときどきある」と答えた県民は46.1%となっています。平成23年度と比較すると、「ない」の割合が10ポイント上昇しています。

■ 図 4-13 あなたは、これまで近所の大人からほめられたことはありますか



資料：「三重県子ども条例に基づく調査・子ども調査」

■ 図 4-14 あなたは、近所の子どもをほめたことはありますか



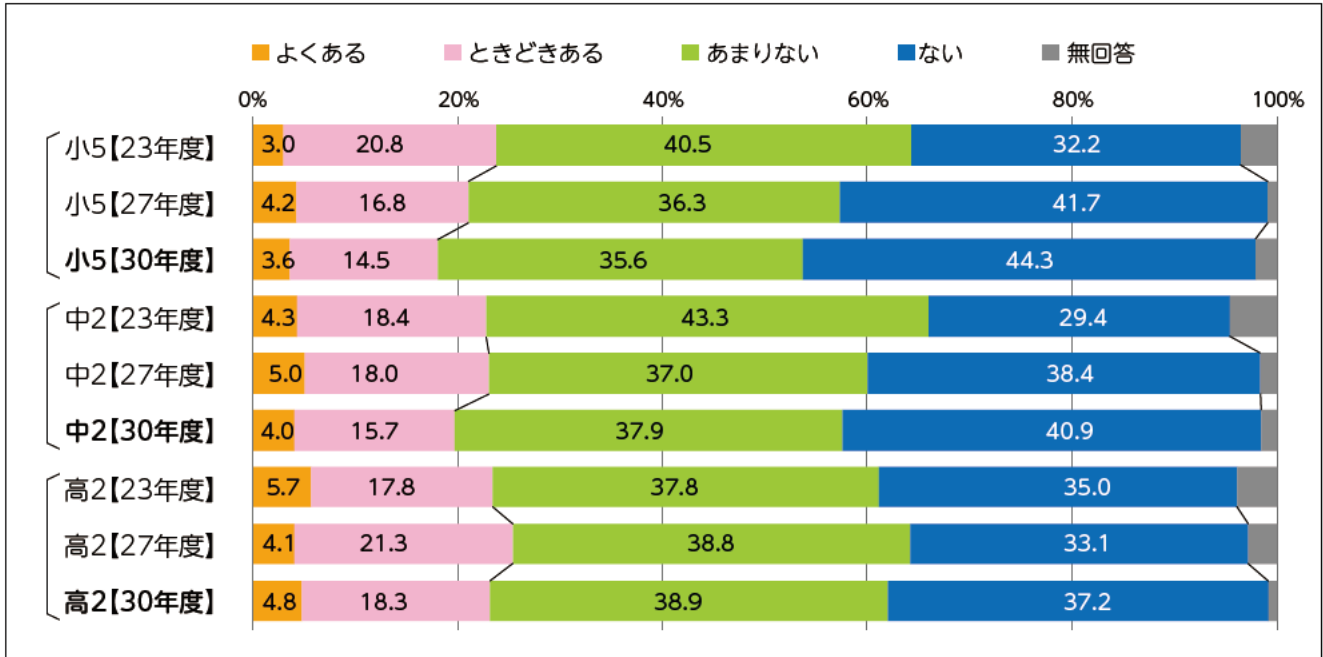
資料：「三重県子ども条例に基づく調査・県民調査」

●近所の大人から注意されたことがある子どもは約2割。近所の子どもを注意したことがある県民は約3割だが減少傾向。

これまでに近所の大人から注意されたことについて、「よくある」「ときどきある」と答えた小学生は18.1%、中学生は19.7%、高校生は23.1%となっています。

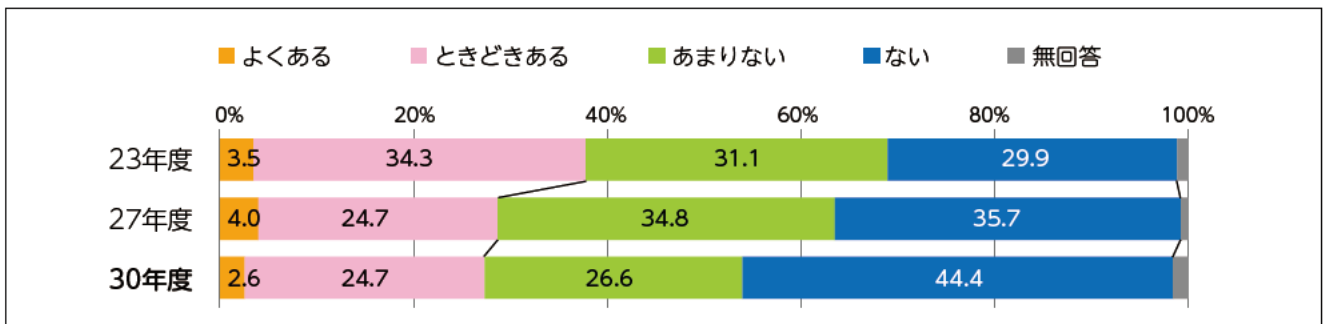
一方、近所の子どもを注意したことについて、「よくある」「ときどきある」と答えた県民は27.3%となっています。平成23年度と比較すると、「ない」の割合が14.5ポイント上昇しています。

■ 図 4-15 あなたは、これまで近所の大人から注意されたことはありますか



資料：「三重県子ども条例に基づく調査・子ども調査」

■ 図 4-16 あなたは、近所の子どもを注意したことはありますか

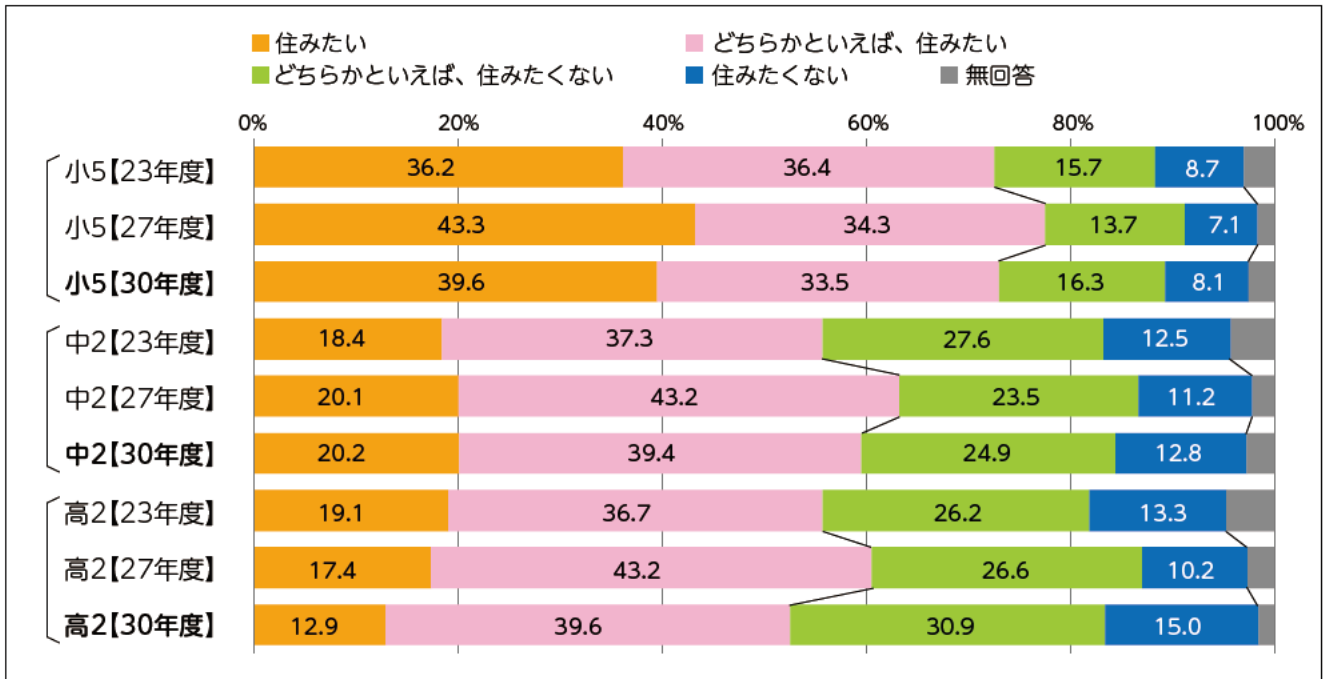


資料：「三重県子ども条例に基づく調査・県民調査」

●将来、自分が育った地域で住みたい小学生は約7割、中学生は約6割、高校生は約5割。

将来、自分が育った地域に住みたいかについて、「住みたい」「どちらかといえば住みたい」と答えた小学生は73.1%、中学生は59.6%、高校生は52.5%となっており、小学生、中学生、高校生と上がるにつれて低くなっています。

■ 図 4-17 あなたは、将来、自分が育った地域で住みたいと思いますか



資料：「三重県子ども条例に基づく調査・子ども調査」

●住んでいる地域で取り組んでみたいことについて、小学生は「異なる年齢の子どもと一緒に遊んだり、活動したりする」、中学生、高校生は「特にしたいことはない」が最も高い。

住んでいる地域で取り組んでみたいことについて、小学生は「異なる年齢の子どもと一緒に遊んだり、活動したりする」が36.7%と最も高く、次いで「農業、漁業、伝統工芸など、地域の産業を体験する」が29.4%、「地域の歴史や文化について勉強する」「地域のスポーツクラブやサークルで活動する」が25.8%となっています。中学生は「特にしたいことはない」が37.2%と最も高く、次いで「異なる年齢の子どもと一緒に遊んだり、活動したりする」が26.5%、「地域のスポーツクラブやサークルで活動する」が22.2%となっています。高校生も「特にしたいことはない」が39.8%と最も高く、次いで「地域のスポーツクラブやサークルで活動する」が21.6%、「異なる年齢の子どもと一緒に遊んだり、活動したりする」が18.7%となっています。

平成23年度と比較すると、小学生は「町の美化活動をする」、中学生は「地域の行事を計画する」、「異なる年齢の子どもと一緒に遊んだり、活動したりする」が10ポイント以上上昇しています。

■ 図 4-18 あなたは、住んでいる地域で、どんなことに取り組んでみたいと思いますか
(複数回答・いくつでも)

	小学5年生			中学2年生			高校2年生		
	23年度	27年度	30年度	23年度	27年度	30年度	23年度	27年度	30年度
地域の歴史や文化について勉強する	16.0	③25.2	③25.8	12.3	16.1	14.8	8.2	6.3	9.2
農業、漁業、伝統工芸など、地域の産業を体験する	②24.0	②28.6	②29.4	11.6	18.5	16.5	7.1	8.2	9.2
地域の大人と意見交換などをする	4.9	5.6	6.7	3.1	6.3	6.1	4.8	4.1	5.3
地域の行事を計画する	14.1	17.6	20.1	7.6	16.5	18.0	7.3	10.4	11.0
地域のスポーツクラブやサークルで活動する	21.3	22.2	③25.8	②16.5	③24.0	③22.2	②19.1	②22.7	②21.6
お年寄りや昔遊びなどで交流する	22.4	20.5	22.9	6.0	10.3	10.6	7.5	4.4	6.2
異なる年齢の子どもと一緒に遊んだり、活動したりする	①30.3	①32.2	①36.7	③15.3	②25.9	②26.5	③15.0	③17.3	③18.7
町の美化活動をする	9.4	17.4	19.4	9.2	16.8	14.9	10.4	10.7	14.5
防災活動など地域の安全を守るための活動をする	14.4	17.2	20.0	6.3	12.4	12.3	4.7	6.3	8.9
いろいろな国の人と交流する	18.2	20.6	24.4	8.8	14.2	17.3	9.4	7.2	11.3
その他	1.3	2.9	3.4	1.2	2.2	1.3	1.1	1.2	1.4
特にしたいことはない	③23.2	③25.2	20.8	①43.0	①32.1	①37.2	①41.7	①40.0	①39.8
無回答	6.7	2.4	2.3	8.2	2.8	3.0	9.1	4.8	2.8

資料：「三重県子ども条例に基づく調査・子ども調査」〔○番号は割合の多い順を表しています。〕

●住んでいる地域で取り組めるとよいことについて、小学生の保護者は「異なる年齢の子どもと一緒に遊んだり、活動したりする」、中学生の保護者や県民は「防災活動など地域の安全を守るための活動をする」が最も高い。

子どもが住んでいる地域で取り組めるとよいことについて、小学生の保護者は「異なる年齢の子どもと一緒に遊んだり、活動したりする」が47.4%と最も高く、次いで「防災活動など地域の安全を守るための活動をする」が35.0%、「農業、漁業、伝統工芸など、地域の産業を体験する」が32.5%となっています。中学生の保護者は「防災活動など地域の安全を守るための活動をする」が36.6%と最も高く、次いで「異なる年齢の子どもと一緒に遊んだり、活動したりする」が34.4%、「地域のスポーツクラブやサークルで活動する」が29.5%となっています。

小学生の保護者、中学生の保護者ともに、平成27年度は5位以下だった「防災活動など地域の安全を守るための活動をする」がそれぞれ2位、1位となっています。

地域の子どもと一緒に取り組みたいと思うことについて、県民は「防災活動など地域の安全を守るための活動をする」が37.9%と最も高く、次いで「町の美化活動をする」が34.2%、「農業、漁業、伝統工芸など、地域の産業を体験する」が33.6%となっており、平成27年度と比較すると順位が大きく入れ替わっています。

中学生の保護者や県民で35%以上で1位となっている「防災活動など地域の安全を守るための活動をする」は、中学生は12.3%、高校生8.9%にとどまり（P.74）、20ポイント以上の差となっています。

■ 図 4-19 【保護者】あなたは、お子さまが、住んでいる地域でどんなことに取り組めるとよいと思いますか / 【県民】子どもがいきいきと育つために、あなたが、地域の子どもと一緒に取り組みたいと思うことは、どんなことですか（複数回答・いくつでも）

	小学生保護者			中学生保護者			県民		
	23年度	27年度	30年度	23年度	27年度	30年度	23年度	27年度	30年度
地域の歴史や文化について勉強する	28.9	33.9	29.5	27.4	②30.7	26.3	23.5	28.8	25.7
農業、漁業、伝統工芸など、地域の産業を体験する	28.7	②35.3	③32.5	23.2	28.0	28.3	24.1	30.5	③33.6
地域の大人と意見交換などをする ※1	12.7	17.2	10.9	15.1	17.8	15.9	14.6	17.3	17.4
地域の行事を計画する	14.0	16.7	15.6	12.9	14.4	16.3	③30.6	②35.5	29.2
地域のスポーツクラブやサークルで活動する	②31.8	33.2	30.8	23.8	27.5	③29.5	29.1	①36.2	30.2
お年寄りや昔遊びなどで交流する ※2	28.5	25.8	24.1	16.6	14.9	14.0	19.8	17.3	17.1
異なる年齢の子どもと一緒に遊んだり、活動したりする ※3	①47.7	①54.9	①47.4	①35.1	①34.5	②34.4	①34.2	③33.9	32.5
町の美化活動をする	③29.2	28.4	26.1	②30.1	27.3	25.6	②31.5	33.1	②34.2
防災活動など地域の安全を守るための活動をする	29.1	28.7	②35.0	③29.0	27.6	①36.6	25.0	29.5	①37.9
いろいろな国の人と交流する	23.5	③34.7	23.2	21.6	③30.5	29.3	11.3	19.7	16.5
その他	0.5	1.8	1.3	2.3	1.4	1.1	2.2	4.1	2.0
特にない	10.2	5.5	6.6	12.1	9.5	9.5	11.1	10.2	8.4
無回答	1.9	1.0	1.4	2.4	1.1	1.4	1.9	0.5	2.5

※1 県民調査の選択肢「意見交換などをする」 ※2 県民調査の選択肢「昔遊びを伝える」

※3 県民調査の選択肢「一緒になって遊ぶ」

資料：「三重県子ども条例に基づく調査・保護者調査、県民調査」〔○番号は割合の多い順を表しています。〕